

## 青森県立美術館コレクション展 2025-1

青森県立美術館の収蔵品を中心に展示する青森県立美術館コレクション展。今年度第1期は、同日に開幕する企画展「描く人、安彦良和」と関連した特集展示や、棟方志功の著名な自伝『板極道』の原稿と挿絵の初の展示公開、さらには今年、個人のご所蔵家から寄贈になった奈良美智氏の最初期の油彩画の公開など、もりだくさんです。春から初夏にかけて、お出かけしやすい気候が続くこの時節、ぜひ青森県立美術館にお越しください。

### ◎展覧会の構成と概要

[展示室 M, J, I, H] 【特集展示】空想のゲリラたち —1960年代のアートへ/から

企画展「描く人、安彦良和」と関連し、漫画家／アニメーション監督・安彦良和による創作の「原点」ともいえる1960年代に発表された様々な作品を、コレクションをもとに紹介します。科学技術が発達する一方、東西冷戦や日米安保などの形で社会と政治の間に数多の矛盾や問いが噴出し、芸術分野においても既存のジャンルに回収できないアクションや反芸術運動が浮上した1960年代。そのような時代の美術をはじめ、ベトナム戦争写真や特撮美術を紹介する本展示は、己の武器たる想像力をたずさえ社会と緊密に連携し、日本の戦後文化の最前線を切り拓いていった、いうなれば「空想のゲリラ」(山形の詩人・黒田喜夫の詩作から引用)たるアーティストたちの姿をもとに、今日の社会との向きあい方を逆照射することを試みるものです。

展示室 M-J: 澤田教一による郷里・青森の小川原湖や三沢基地の様子を捉えた写真、ベトナム戦争写真

展示室 I: 秋山祐徳太子、菊畑茂久馬、立石紘一による1960年代の前衛美術作品、1968年「反戦と解放展」参加依頼状(英)

展示室 H: 成田亨によるウルトラQ/ウルトラマン/ウルトラセブンの宇宙人や怪獣デザイン原画(1965~67)、彫刻作品や映画『この子を残して』特撮美術のためのプラン図

[展示室 N, 棟方志功展示室, 展示室 O] Re 板極道 (読み:リ バンゴクドウ)

1964年に刊行された棟方志功の自伝『板極道』には、「板画」の道をきわめたこの作家の歩みが自身の言葉でいきいきと綴られています。一般財団法人棟方志功記念館は昨年、この著名な自伝の原稿と挿絵を収集しました。あらたにコレクションに加わったその貴重な原稿と挿絵を初めて展示公開いたします。詳細は別紙をご覧ください。

[展示室 F, G] 作る人、奈良美智

企画展のタイトル(「描く人、安彦良和」)に触発され、今回は「作る人、奈良美智」と題して、作家の身体性をいきいきと伝える豊かな質感を有した絵画や立体作品を展示します。また展示の中では、ご寄贈により今年から当館のコレクションに加わった奈良の若描きの油彩画《カッチョのある風景》(1979年)も展示します。本作は奈良が学生時代、アルバイトで講師を務めていた予備校の当時の教え子で画家として活躍する杉戸洋氏(現:東京藝術大学美術学部絵画科油画教授)が収蔵していた作品で、「奈良美智: The Beginning Place ここから」で展示されて話題になったものです。



奈良美智《カッチョのある風景》1979 年 油彩・キャンバス 53.5×65.3

[展示室 P, Q] 負けない力 ―青森の女性作家たち―: 今ヤヨ・橋本花

近代以降の激しい時代の流れの中で、さまざまな困難に直面しながらも、それをしたたかに乗り越えて、芸術にかける熱い思いを貫き通す。そんな逞しさとしなやかさとをかねそなえた、決して「負けない」青森ゆかりの女性作家たちを、シリーズで紹介いたします。今回は、第二次世界大戦前から戦後にかけて活動を展開した今ヤヨと橋本花です。

[展示室 L] 【サポートシップ倶楽部寄贈作品】 多田友充

青森県立美術館の活動を支援し、広く県民の美術文化の向上に寄与することを目的に 2016(平成 28)年に設立された「青森県立美術館サポートシップ倶楽部」から寄贈された作品を紹介いたします。今回は、2010 年から、青森市浪岡の滞在制作プログラムに参加したり、弘前市にアトリエを構えたり、約 9 年にわたり青森県内で制作活動を展開した現代アーティスト・多田友充(ただ・ともみつ / 1979 年 広島県生まれ)の作品を紹介いたします。

会 期:2025 年 4 月 19 日(土) ～ 7 月 13 日(日)

休 館 日:4 月 28 日(月)、5 月 12 日(月)、5 月 26 日(月)、6 月 9 日(月)、6 月 23 日(月)

※第2, 第4月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

開館時間:9:30～17:00(最終入館 16:30)

※5 月 24 日(土)はナイトミュージアムのため 20:00 まで開館(最終入館 19:30)

入 場 料:一般 700(560)円、大学生 400(320)円、18 歳以下および高校生 無料

※( )は 20 名以上の団体料金

### **問合せ先**

青森県立美術館

〒038-0021 青森市安田近野 185

TEL:017-783-5240 FAX:017-783-5244 MAIL:bijutsukan@pref.aomori.lg.jp

広報担当:森 美南 学芸担当:高橋 しげみ

### **棟方志功作品問合せ先**

一般財団法人棟方志功記念館 広報担当

〒038-0021 青森市安田近野 185

TEL:017-761-1560 FAX:017-761-1568